

2024年 NPO法人フードバンクくるめ 通常総会のご案内



おかげさまでフードバンクくるめは設立から7年経過しました。昨年度の食品取扱量は37.4トンに留まりましたが、市内外の50数団体以上に食品支援を行ってきました。今年度の通常総会は、NPO(特定非営利活動)法人フードバンクくるめ発足2年目になります。連休中日ですが、下記の日程・場所で通常総会を開催致します。多数のご参加のほど、宜しくお願い致します。

2024年4月29日(休) 午後1時受付、2時開催
会場：城島倉庫&事務所 (城島町城島689-2)

NPO法人フードバンクくるめ 通常総会 式次第

- ① 代表理事あいさつ
- ② 議長選任
- ③ 議事録署名人(2名)選任
- ④ 2023年度事業報告書
- ⑤ 2023年度活動決算書
- ⑥ 2024年度事業計画書 (案)
- ⑤ 2024年度活動予算書 (案)
- ⑦ 役員紹介
- ⑧ 支援団体からの報告
- ⑨ 閉会

NPO法人フードバンクくるめ役員

役職	氏名
代表理事	浦川 豊彦
理事	綾戸 信之
理事	江頭 ひとみ
理事	田村 貴美子
理事(会計)	馬場 浴文
監査	堺 英二郎

***** 切り取り *****

委任状

2024年 月 日

NPO法人フードバンクくるめ 代表理事 浦川 豊彦 殿

2024年度NPO法人フードバンクくるめ通常総会に出席できないので、議決に関する権限を議長に委任します。

所属団体名： _____

ご氏名： _____

_____さま

年会費納入のお願い

NPO法人フードバンクくるめの活動は、個人・団体の年会費、賛助会費、寄付、それに補助金によって支えられています。特に、個人・団体会員数と会費納入率は、その団体や法人の実力や活動の広まりの客観的な指標のひとつです。

4月29日の通常総会開催時に納入して下さるか、毎週火曜と木曜の定期活動日にお持ち下さい。もしくは、下記の2つの金融機関の口座に振り込んでいただくことも可能です。

年会費はそれぞれ正会員 5,000円、学生会員 1,000円、団体会員 20,000円、賛助会員 1口 2,000円となっております。

貴方の年会費は

年度分

円です。

振込先：

ゆうちょ銀行口座は法人化に伴い変更されました（2023.10.17から）
トクヒ）フードバンククルメ
ゆうちょ銀行 店番：758 店名：七五八（ナナゴ八チ）
普通口座 0636759

NPO法人フードバンクくるめ 代表理事 浦川豊彦
トクヒ）フードバンククルメ
福岡県信用組合 城島支店 店舗番号216
普通口座 0074088

2023年度 NPO法人フードバンクくるめ 事業報告書

2024.4.29

コロナ禍収束後1年目の2023年度は、2022年2月に始まったウクライナ戦争をきっかけに、世界中での燃料や食料品の高騰に加え、円安も重なって40年ぶりのインフレになった。そのため、2023年はエンゲル係数（消費支出に占める食品支出の割合）が1985年以降で最高値になった。この物価高騰に賃上げが追いついて行かず、実質賃金は目減りし、格差貧困は拡大している。

<充足7年めの到達点>

2023年度は企業・団体等59及び個人23名から寄贈された年間食品総量は、37.4トン(内訳は玄米・精米2.5トン・野菜3.6トン・果物0.2トン・冷凍食品4.0トン・水&飲料8.9トン・災害食1.9トンなど)と前年比で約3割減少した。このうちフードバンク間連携は約13トン(35%)であった。また、フードドライブでは、2022年度並みに1.6トン(前年度1.7トン)に達した。賛同スーパーは3店舗から8店舗に増えた。食品1kg当たりの我々のコストは約86円(うち久留米市負担分0円、昨年度約41円)かかった。平均食品価格が約600円/kgなら2,200万円に相当する。そのほか、洗剤・衛生用品・ノベルティなど非食品商品も1.6トン取扱った。

食品支援団体は増え続け、合意書締結は78団体(前年度は72団体。子ども/地域食堂27・校区福祉団体8・ひとり親団体2・無料塾1・障がい者(児)支援団体14・社会福祉協議会8・路上生活者支援1・学生支援団体6など)になった。各々食品の引渡頻度が異なるものの、支援対象人数の総計では子ども約4,000名、大人約5,000名を遙かに超えている。地域別では、久留米市に54団体、周辺の小郡市・広川町・筑後市・柳川市・みやま市・大川市・朝倉市・大木町・吉野ヶ里町・鳥栖市・佐賀市・唐津市に広がっている。

また、個別の生活困窮世帯への支援では、今は財政的・能力的に郵送や宅配など直接支援はできないものの、前年度と同様に、支援団体を經由して行ってきた。第1は、子ども食堂・居場所や校区民生委員・主任児童委員・ソーシャルワーカーなどを經由して、数百世帯に間接的に支援を継続している。第2は、各自治体の社会福祉協議会と生活自立支援センター窓口で、久留米市・筑後市・柳川市・みやま市・広川町・大木町で行ってきた。第3は、ひとり親家庭主体の団体1(230世帯)である。加えて、個別困窮世帯への宅配事業である佐賀県の『子ども宅食』にも協力してきた。

7月の豪雨災害では、優先的に飲物等を久留米市災害ボランティアセンターに頻回提供し、氷冷タオル用に毎回30kgの氷を4回提供した。久留米市ボランティア連絡協議会の会員団体として、余ったタオルと雑巾の備蓄倉庫としての役割を担っている。

「みのう農民組合」と協働の農業体験会として、2018年から通算10回実施した毎年11月恒例の柿収穫体験会は、残念ながらコーディネーターの逝去と他の事情で、昨年度は中止せざるを得なかった。

設備面では、中古プレハブ型冷凍庫に不具合が頻発するようになったため、年間保守契約(年間38,500円)をホシザキ九州(株)と結ぶと共に、NPO法人化直前の7月に新品の省エネ型インバーター冷凍機に交換したため、電気代の軽減に繋がった。

民間の助成金を原資に、継続的な子ども支援の一環として、子ども食堂と子ども支援や居場所提供団体を対象に、2020年度から始めた独自の約150ℓの縦型冷凍庫の10年間長期貸与制度は利用者に好評で、すでに現在19台が貸与・活用されている。2023年度にも5台追加購入し、直ぐにも貸与できるように倉庫内に常時保管している。

また、2021年度から始めた有償ボランティア制度では、昨年度並の年間活動費として年間約50万円が支払われた。燃料の高止まりにより、ガソリン代の弁済額をキロ当たり30円を維持した。高騰している電気代は、前年度比で22%減少した。

財政的には、2023年度も福岡県フードバンク協議会(FFBK)を通じて、コスモス薬品と西日本シティ銀行からの子どもの未来支援・物流助成として160万円の他、久留米市社協10万円とて総額170万円に達したため、久留米市の公的補助金は受けなかった。

8月2日のNPO法人登記後の9月1日に浦川豊彦代表理事から城島倉庫の土地・建物が無償譲渡され、それに伴い9月6日に所有権移転登記税19.1万円と今年2月28日に不動産取得県税20.9万円の合計40万円を支払った。

<見えてきた課題>

国と自治体によるフードバンク活動支援が明記された食品ロス削減推進法が2019年5月成立、同年10月施行されたものの、現段階でも具体的な施策は決まっていない。我々の活動の財政的な足枷になってきた不動産取得県税と毎年の固定資産市税=年間10.5万円も、事ある度に声を上げているが、免税される気配は今のところない。法人化を機に働きかけを強めたい。

生活困窮世帯への間接支援として、各社協の窓口での食品手渡しのほか、地域の実情を知りうる立場の主任児童委員・民生委員・ソーシャルワーカー・子ども食堂による支援は、個人情報制限下では有効な支援ルートであるが、まだ一部の学校区に限られている。地域的にも筑後地域東部のうきは市・東峰村への支援が届かず、サテライトの設置が望まれる。

この間、支援先団体と食品需要が増えた一方、年間食品取扱量では前年度より約3割も減少した。フードドライブ・コーナーが通年比較的潤沢な割に、陳列棚に空きが目立つ時期もあり、新規に食品関連企業・団体を開拓する必要がある。

財政面では、2024年度も久留米市社協と福岡県フードバンク協議会経由の県内企業から、昨年度同様に170万円もの助成金が予約されているため、繰越金とも合わせて久留米市の補助金を申請する予定はない。

令和5(2023)年度 活動決算書

2023年8月2日から2024年3月31日まで

(単位:円)

NPO法人フードバンクくるめ

科目	当初予算額A	決算額 B	差額 (B-A)	備考
I 経常収益	(1年間)	(約8ヶ月間)		
1.受取会費				
正会員 (50口)	300,000	30,000	△ 270,000	5,000×6口
団体会員 (8口)	200,000	60,000	△ 140,000	20,000×3口
賛助会員	20,000	10,000	△ 10,000	2,000×5口
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人)	100,000	126,000	26,000	4名
受取寄付金 (団体)	200,000	5,000	△ 195,000	1団体
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	1,600,000	0	△ 1,600,000	(任意団体期にFFB協議会160万円)
受取公的助成金	100,000	100,000	0	久留米市社協10万円
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	0	28	28	9/11信金11、10/1ゆうちょ6、3/11信金11
雑収益	20,000	180,000	160,000	隣友の会倉庫賃借料1.5万円×12ヶ月分
経常収益計	2,540,000	511,028	△ 2,028,972	
前期 (2023年度任意団体期) 繰越額	3,701,433	3,701,433		
収入の部合計	6,241,433	4,212,461		
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				
活動費	500,000	344,000	△ 156,000	344口 (費用弁済: 半日~1日1,000円)
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
人件費計	510,000	344,000	166,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	3,000	5,520	2,520	福岡往復
車両費 (ガソリン・高速料・駐車料)	350,000	227,070	△ 122,930	ガソリン225,440@¥30/km、高速料1,630
備品購入費	300,000	216,500	△ 83,500	縦型冷凍庫(5台)216,500
委託料	10,000	0	△ 10,000	
光熱費	400,000	209,753	△ 190,247	電気料20,573、灯油4,000 (年間電気料: 322,749)
保険料 (ボランティア)	3,000	1,750	△ 1,250	350 x 5人名@¥350
その他経費計	1,066,000	660,593	△ 405,407	
事業費計	1,576,000	1,004,593	△ 571,407	
2.管理費				
(1) 人件費				
会計手当	20,000	20,000	0	
人件費計	20,000	20,000	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	6,000	0	△ 6,000	
上下水道料	50,000	20,823	△ 29,177	
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
地代家賃	0	0	0	
雑費・消耗品費	150,000	22,993	△ 127,007	銀行手数料ほか
通信運搬費 (電話・ネット代、郵送料)	110,000	73,670	△ 36,330	電話21,670、ネット料50,780、郵送料1,220
営繕費	150,000	36,300	△ 113,700	ホシザキ年間保守料38,500
租税公課	170,000	403,500	233,500	所有権移転登記191,600、不動産取得税209,400ほか
固定資産税	104,953	0	△ 104,953	任意団体期支払済み内訳(土地68,075、建物36,878)
保険料 (建物損害)	65,000	58,400	△ 6,600	
諸会費	12,220	0	△ 12,220	任意団体期支払い済み県FB協議会10,000、ボラ連2,000
図書・新聞費	16,800	9,500	△ 7,300	農民新聞8,400、書籍1,100
予備費	150,000	0	△ 150,000	
その他経費計	994,973	625,186	△ 369,787	
管理費計	1,014,973	645,186	△ 369,787	
経常費用計 (支出合計)	2,590,973	1,649,779	△ 941,194	事業費計1,004,593+管理費計645,186
当期経常費増減額		2,347,289		
III 経常外費用				
1. 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
経理区分振替額	0	0	0	
当期正味財産増減額	0	-1,138,751	△ 1,138,751	今期経常収益額511,028-経常費用計1,649,779
前期繰越正味財産額	944,799	3,701,433		
次期繰越正味財産額		2,562,682		

期末銀行残高 2,562,682円

令和6(2024)年度事業計画書(案)

2024年6月1日から2025年3月31日まで

NPO法人フードバンクくるめ

1 事業実施の方針

任意団体設立から8年目、NPO法人化から2年目となる2024年度は、前年度落ち込んだ食品取扱量の増加のために、新規に企業・団体へ食品提供の申入れを行う。

今まで手が出せなかった個別生活困窮家庭への直接配送事業を検討する。この分野では、フードバンク山梨やフードバンク北九州などの先例を参考にして、他団体との連携により個別生活困窮家庭の把握(アウトリーチ)、フードボックス作り、そして最も経費がかかる宅配の手段開拓など多くの人の関与と資金が必要となるため、十分な準備をする。

農業体験提供では、柿収穫体験会の再開が厳しい状況なので、フードバンクへ度々農産物提供をしてこられた青年農家(メイショウ・ファーム@吉野ヶ里町)と協力して、農業体験を提供するとともに市場に出せない農産物の提供を受ける。

専有車両として、実用性が高い冷蔵庫付き軽自動車の取得のため、各種の補助金募集に応募する。

また、財政的に許せば、短時間労働者を雇うことで、現在週2日の活動日を拡大する可能性を検証する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
フードバンク事業	食品の受領と分別・展示・保管並びに入庫・出庫管理 マッチングにより優先順位の高い支援団体への配分決定と引渡・配達 個別生活困窮家庭へのフードパック配送	4月1日から年度末	城島倉庫	10人	子ども、生活困窮者、一人親家庭、福祉施設、自立支援施設、学生等 7,000~12,000人	1,450
ネットワーク構築事業	アウトリーチを進めるため他団体と協力して困窮世帯の把握と関連する支援団体と連携と調整	4月1日から年度末	各種困窮者支援団体	3人	同上	100
普及啓発事業	各種イベント出展、印刷物配布、講演会の講師派遣	4月1日から年度末	イベント会場ほか	2人	食品関連企業や一般市民向け	120
農業体験提供事業	農業体験会の主催	11月	メイショウ・ファーム	10人	子どもや親、一般市民 50~100人	50
その他目的を達成するために必要な事業	実施予定なし					

2024 年度 活動予算書 (案)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

NPO法人フードバンクぐるめ

科目	当期分 A	前年度分 B	増減 (A-B)	備考
I 経常収益				
1.受取会費				
正会員60口)	300,000	300,000	0	
団体会員 (10口)	200,000	200,000	0	
賛助会員	20,000	20,000	0	
2.受取寄付金				
受取寄付金 (個人)	100,000	150,000	△ 50,000	
受取寄付金 (団体)	200,000	200,000	0	
3.受取助成金・補助金等				
受取民間助成金	1,600,000	1,600,000	0	福岡県FB協議会からの配分160万円確定
受取公的助成金	100,000	1,000,000	△ 900,000	久留米市社協10万円
4.事業収益				
フードバンク事業収益	0	0	0	
5.その他収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
経常収益計	2,540,000	3,490,000	△ 950,000	
前期繰越額	2,562,682	3,701,433	△ 1,138,751	
収入の部合計	5,102,682			
II 経常費用				
1.事業費				
(1) 人件費				
活動費	550,000	500,000	50,000	前年実績：516,000
諸謝金	10,000	10,000	0	
人件費計	560,000	510,000	50,000	
(2) その他経費				
賃借料	0	0	0	
旅費交通費	5,000	3,000	2,000	前年実績：5,520
車両費 (ガソリン・高速料)	350,000	350,000	0	前年実績：345,730
備品購入費	300,000	300,000	0	縦型冷凍庫 5 台分ほか
委託料	10,000	10,000	0	
光熱費 (電気料、灯油代)	350,000	400,000	△ 50,000	前年実績：326,749
保険料 (ボランティア)	2,000	3,000	△ 1,000	前年実績：1,750
その他経費計	1,017,000	1,066,000	△ 49,000	
事業費計	1,577,000	1,576,000	1,000	
2.管理費				
(1) 人件費				
会計手当	20,000	20,000	0	
人件費計	20,000	20,000	0	
(2) その他経費				
印刷製本費	12,000	6,000	6,000	新チラシ作成
上下水道費	35,000	50,000	△ 15,000	前年実績：31,240
諸謝金	10,000	10,000	0	
地代家賃	0	0	0	
雑費・消耗品費	150,000	150,000	0	前年実績：59,762
通信運搬費	110,000	110,000	0	前年実績：105,926
営繕費	150,000	150,000	0	
固定資産税	104,953	104,953	0	内訳(土地68,075円、建物36,878円)
保険料 (建物損害)	60,000	65,000	△ 5,000	前年実績：58,400
諸会費	12,000	12,220	△ 220	県FB協議会10,000、ボラ連2,000
図書・新聞費	5,000	16,800	△ 11,800	
予備費	150,000	150,000	0	
その他経費計	798,953	824,973	△ 26,020	
管理費計	818,953	844,973	△ 26,020	
経常費用計 (支出合計)	2,395,953	2,420,973	△ 25,020	
当期経常費増減額				
III 経常外費用				
1.過年度損益修正損	0			
経常外費用計	0			
経理区分振替額	0			
当期正味財産増減額	0			
前期繰越正味財産額	2,562,682	944,799		
次期繰越正味財産額				